

開成館は、安積開拓の中心的役割を担った「福島県開拓掛（かいたくかかり）」の事務所が置かれた安積開拓の象徴的な建物で、明治7年に建築された、擬洋風の木造3階建の建造物です。

「地方史上や文化史上、技術史上で特に意義の大きい建造物」として福島県重要文化財に指定されており、昭和40年の復原修理工事では、当時の工事費の約30%を開成社をはじめとした市民からの寄付で実施しています。

また、平成28年に認定された日本遺産「未来を拓いた「一本の水路」」の構成文化財にもなっています。

現在は、安積開拓の資料や当時の民俗資料を展示し、市民の皆さまに公開していますが、令和3年及び4年の福島県沖地震により大きな被害を受け、休館しています。

地震による被害に合わせ、老朽化が著しいことから現在詳細調査を実施するとともに、改修等の方針の検討を進めています。ついては、市民の皆さまの御意見等をお伺いするためアンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。  
(文化振興課)

### 【調査概要】

○調査期間	令和4年12月2日（金）～12月11日（日）
○回答方法	専用ウェブサイトから回答を返信
○モニター数	360名（男性178名 女性182名）
○回答者数	307名（男性152名 女性155名）
○回答率	85.3%

### 【参考】

<https://www.bunka-manabi.or.jp/kaiseikan/>

### 【分析】

#### 《回答者内訳》

(人)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性		4	10	31	40	20	34	13	152
女性	2	9	30	46	45	21	2		155
合計	2	13	40	77	85	41	36	13	307

#### 《開成館の認知度、開成館の価値について》

- ・認知度は92.2%であり、知っている方の半数以上が開成館を見学している。（問1・問2）
- ・見学の目的は、学校行事等のほかは「郡山の歴史を知るため」が最も多い。（問3）
- ・開成館の価値を「明治時代に建設された安積開拓の象徴」と考える方の割合が61.6%である。（問4）

#### 《開成館の改修について》

- ・開成館としての存続を選ぶ割合は79.5%にのぼり、そのうちの77.9%が文化財としての改修を選んでいる。一方で、多額の費用を懸念して取り壊しを選ぶ割合が14.7%ある。（問6）
- ・文化財としての改修を選んだ方のうち87.4%の方は文化財としての価値を保つ範囲での耐震補強まで行い、災害に強い文化財としての存続を望んでいる。（問7）
- ・今後の展示について、VRなどの先端技術を活用した内容を希望する意見が最も多い。（問8）
- ・クラウドファンディングの参加の割合は、条件による参加を含めると86.6%になり、関心はかなり高い。（問9）

### 【考察】

- ・認知度はかなり高いが、訪れたことがない方の割合が41.7%あり、更なる開成館の周知や魅力的な展示・企画を行う必要がある。
- ・耐震補強を含めた文化財としての改修を望む割合が多数だが、将来的な費用面の懸念から建替えや取り壊しを選ぶ方がそれぞれ一定数存在することを考慮すると、今後の災害時の改修費用を軽減するための対策を行いつつ、クラウドファンディングの活用など財源を確保する方法も検討しなければならない。

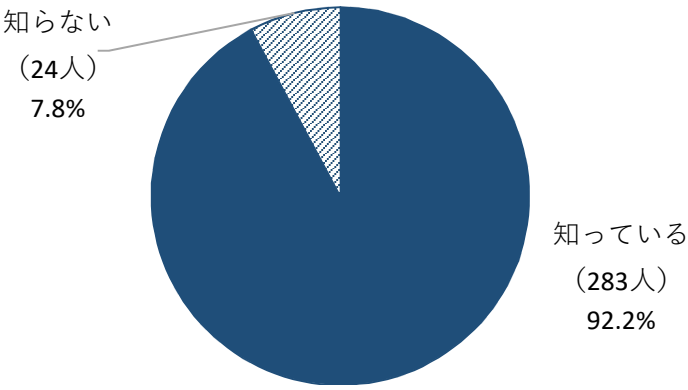
※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

※複数回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。

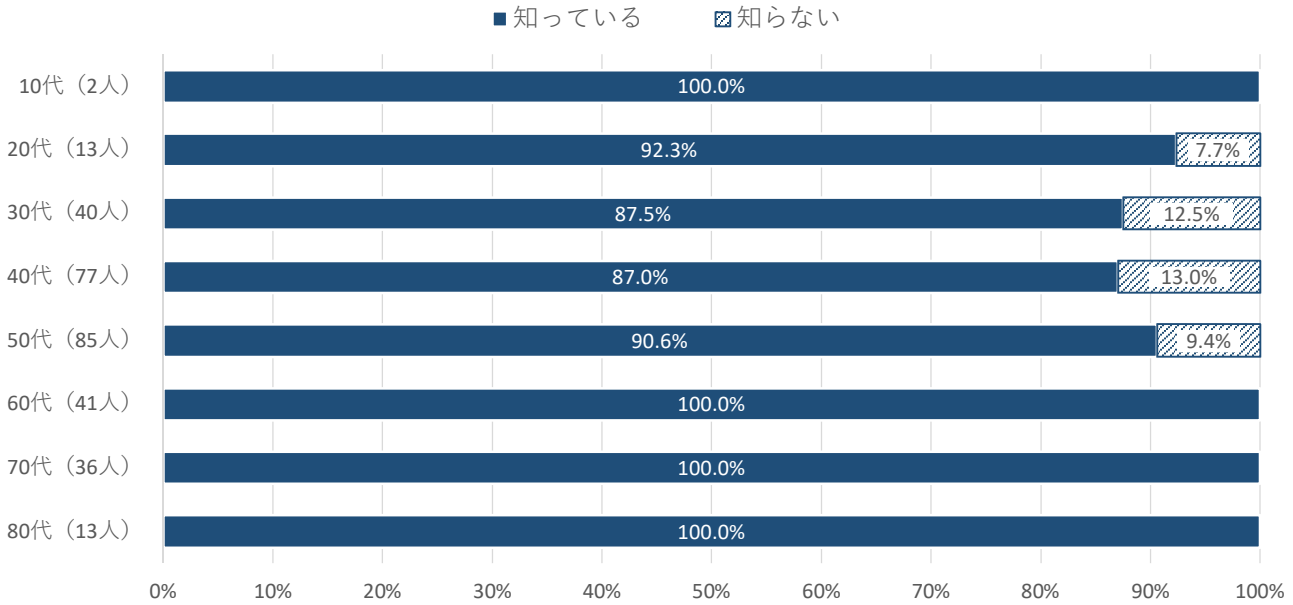
## 【第1章 開成館の認知度、開成館の価値について】

### 問1 開成館を知っていますか？（1つ選択）

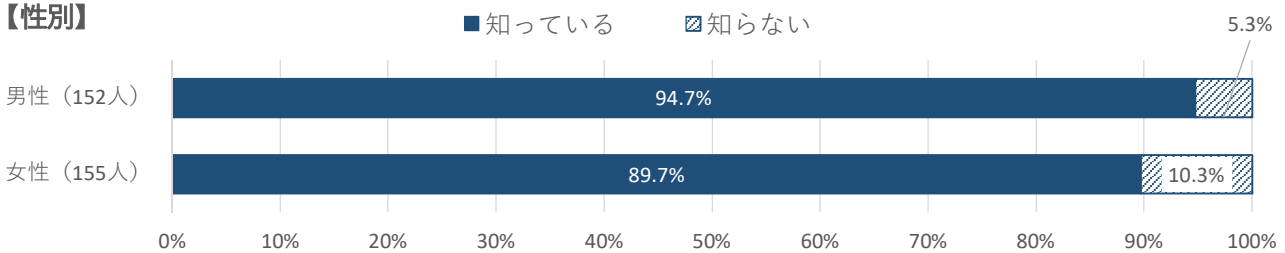
（回答者：307人）



#### 【年代別】



#### 【性別】

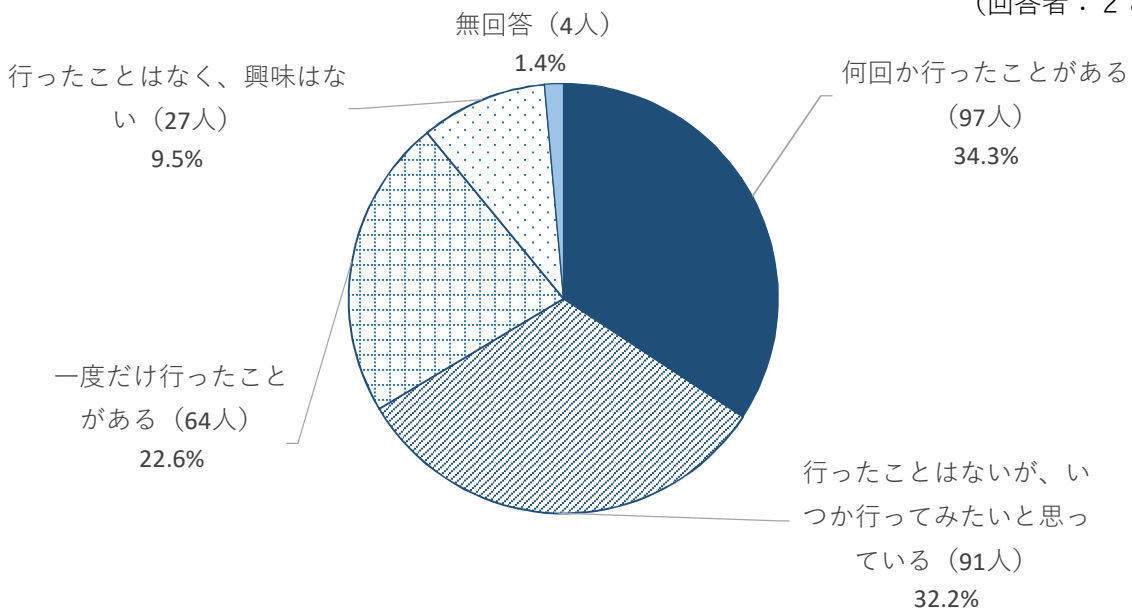


- ・開成館を「知っている」と回答した方は、92.2%であった。年代別では、すべての年代で認知度が87%以上であった。
- ・「知らない」と回答した方は、20代～50代に集中しており、若年代から中年代の認知度が低いと伺える。
- ・性別では、女性より男性のほうが認知度が5.0ポイント高い。

## 問2 開成館に行ったことはありますか？（1つ選択）

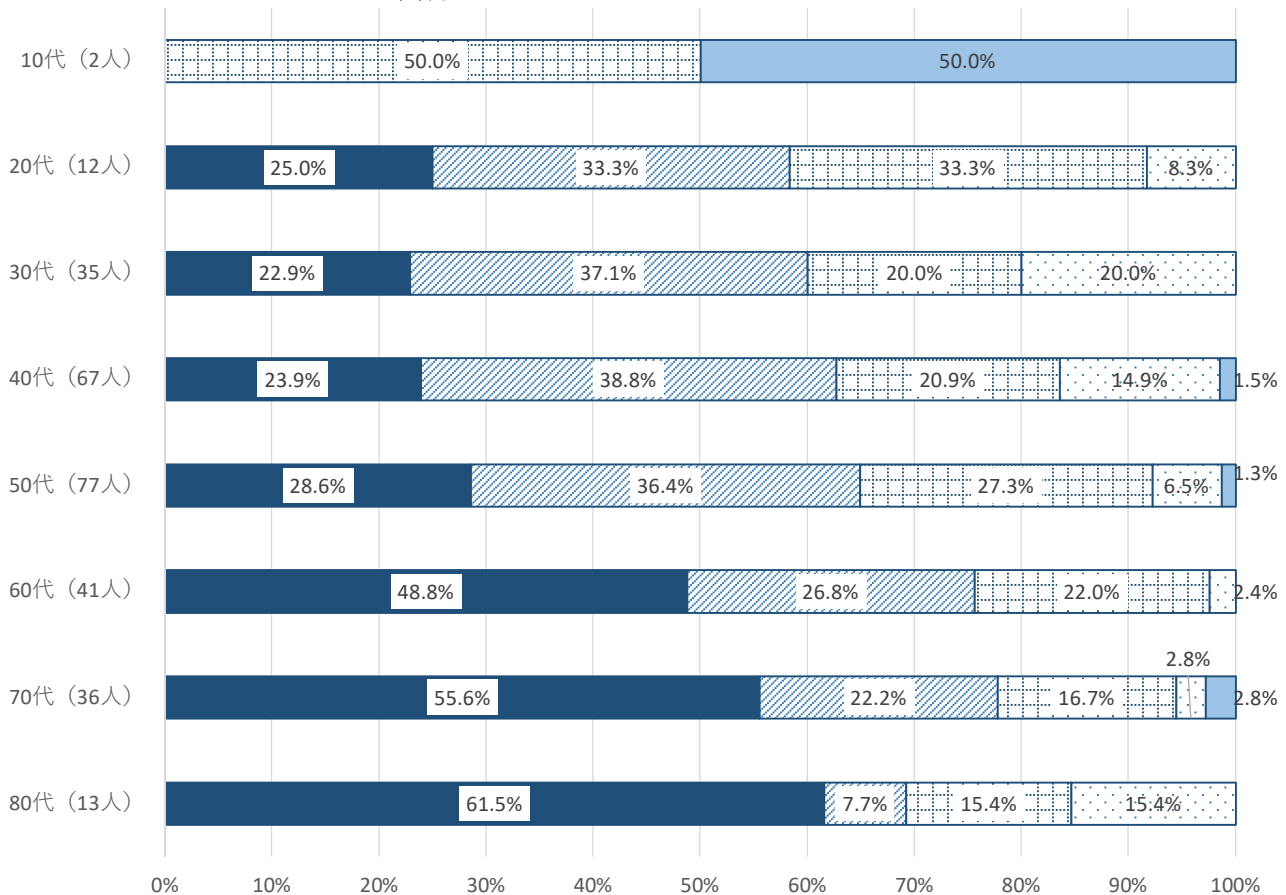
※問1で「知らない」を選択した方は除いています

（回答者：283人）



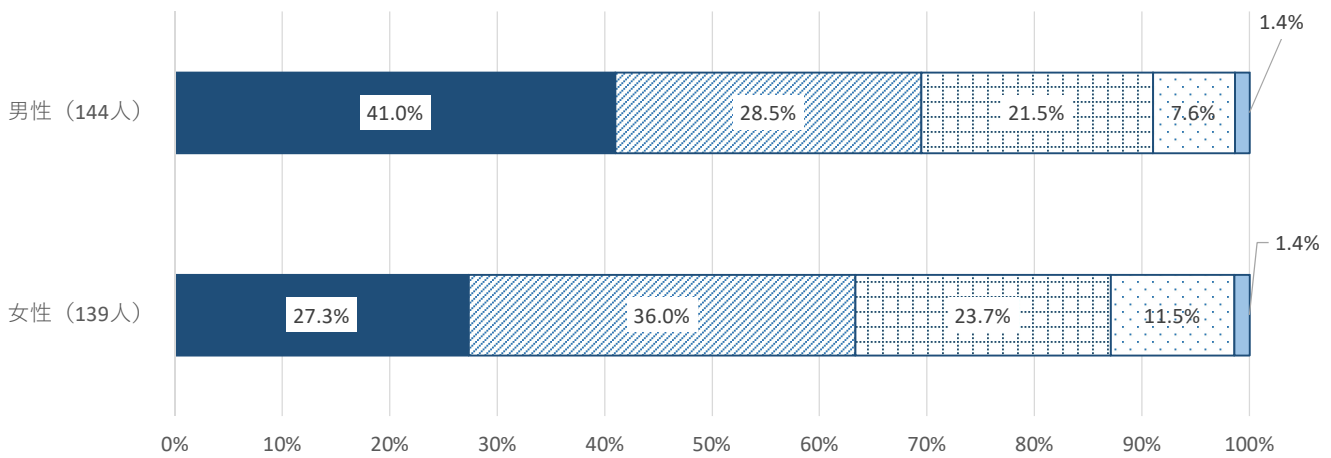
### 【年代別】

- 何回か行ったことがある
- ▨ 行ったことはないが、いつか行ってみたいと思っている
- ▤ 一度だけ行ったことがある
- 行ったことはなく、興味はない
- 無回答



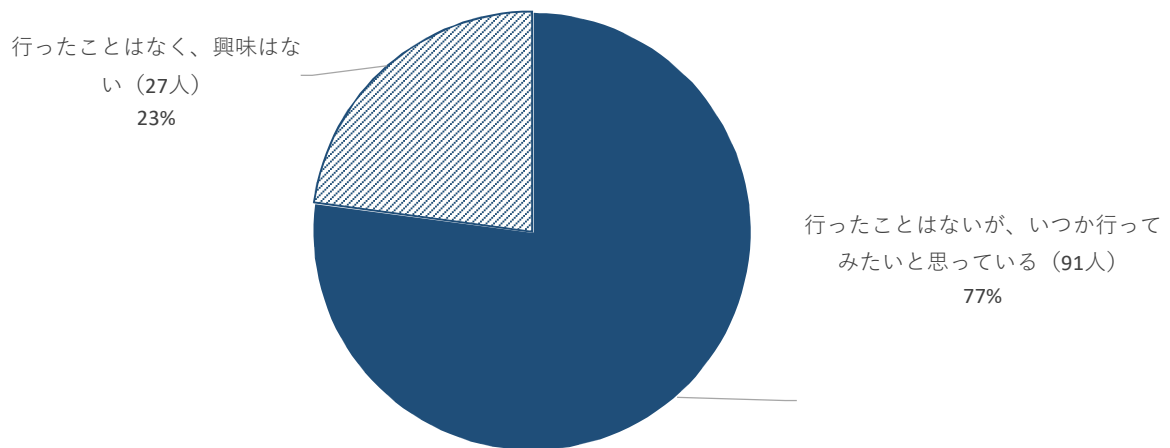
【性別】

- 何回か行ったことがある
- ▨ 行ったことはないが、いつか行ってみたいと思っている
- ▩ 一度だけ行ったことがある
- 行ったことはなく、興味はない
- 無回答



【「行ったことがない」方の内訳】

回答者：118人

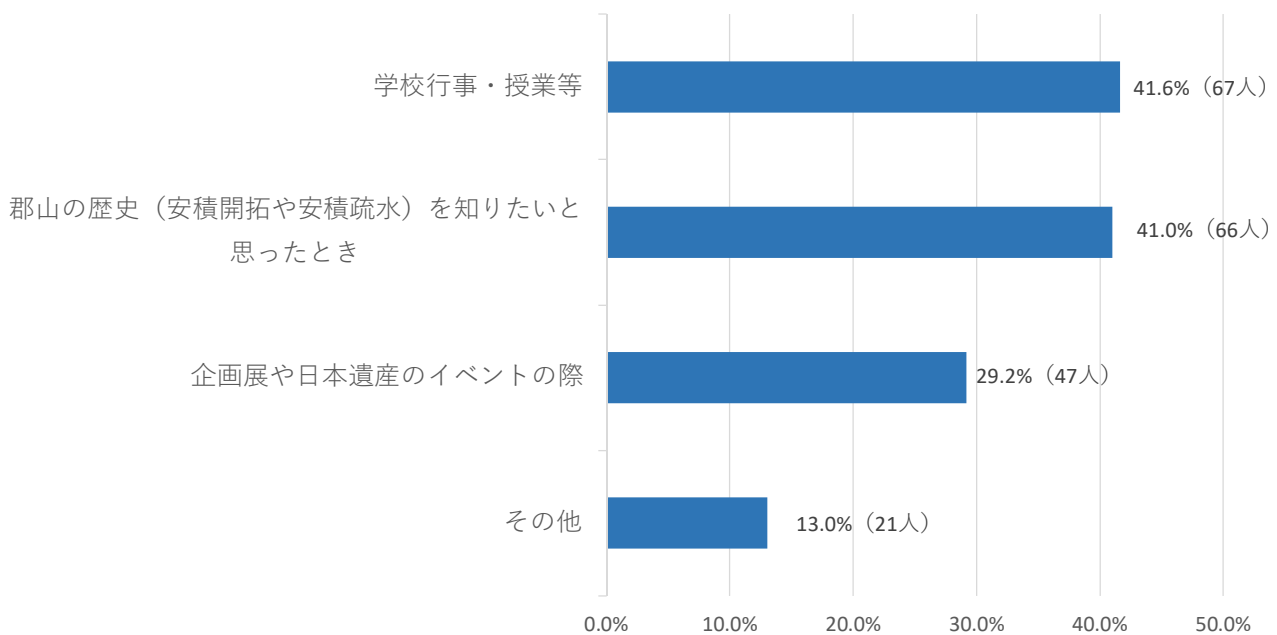


- ・開成館を知っている方の半数以上が、実際に見学している。
- ・行ったことがない方のうち、開成館への見学を希望している割合が77%あり、興味の高さが伺える。
- ・年代別では、50代～80代は開成館の訪問経験が50%を超えており、30代以上では、年代が上がるほどリピーターが多くなる。

### 問3 どのような機会に行きましたか？（複数選択可）

※問2で「一度だけ行ったことがある」「何回か行ったことがある」を選択した方が回答

（回答者：161人）



#### ※「その他」を選択した方の主な意見

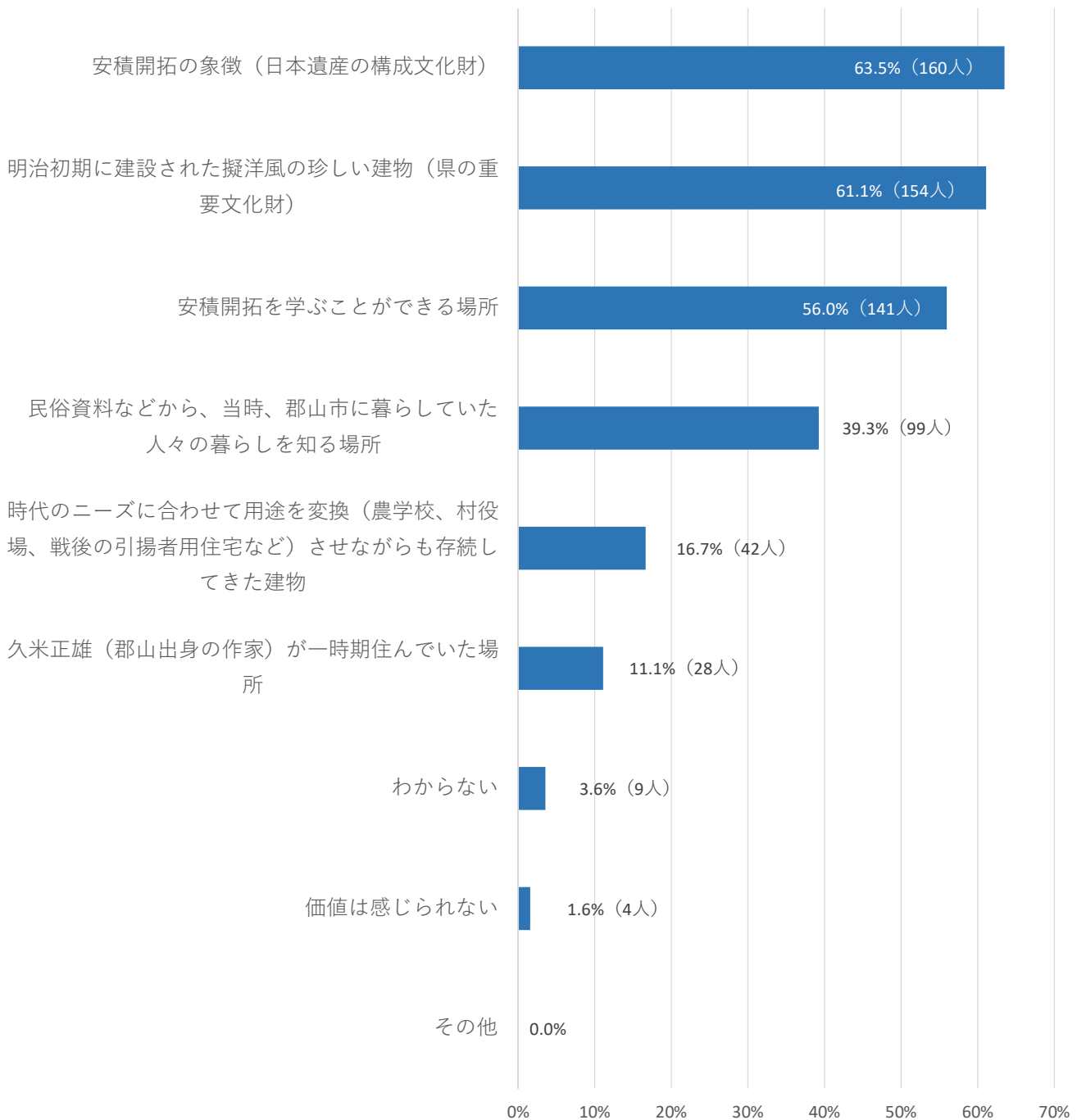
- 他の出身地の友人が郡山に来た時の案内
- 入場無料の日
- 故郷の文化を大切にしたいという思いがあります
- デート

• 「郡山の歴史（安積開拓や安積疏水）を知りたいと思ったとき」の割合が41%で、地元の歴史への興味の高さが伺える。

#### 問4 開成館のどのようなところに価値があると思いますか？（複数選択可）

※問2で「一度だけ行ったことがある」「何回か行ったことがある」「行ったことはないが、いつか行ってみたいと思っている」を選択した方が回答

（回答者：252人）

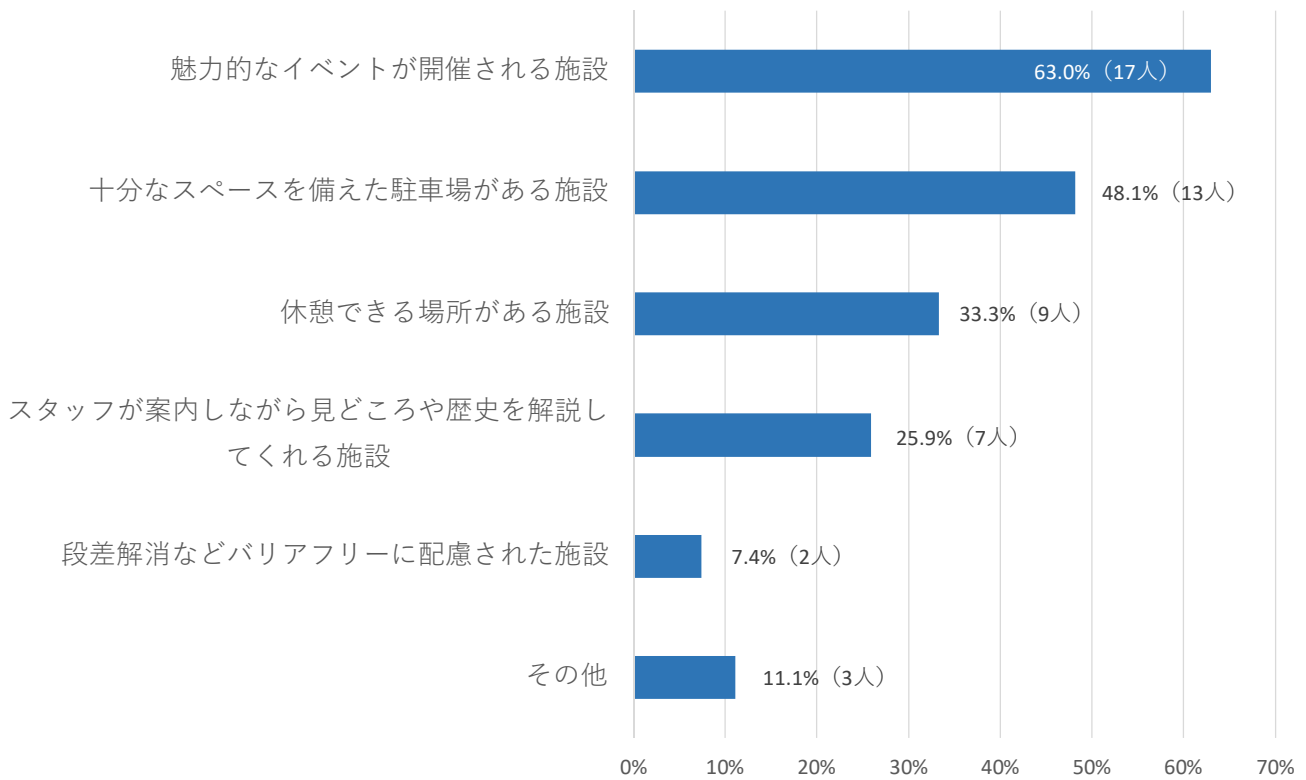


・「安積開拓の象徴（日本遺産の構成文化財）」及び「明治初期に建設された擬洋風の珍しい建築物（県の重要文化財）」と回答した方が6割を超えており、安積開拓の象徴としての文化財や希少な明治初期の建築物として価値を見ている方が多いと考えられる。また、半数以上の方が「安積開拓を学ぶことができる場所」として開成館の役割を認識していると言える。

**問5 開成館がどのような施設だったら足を運びたいと思いますか？（複数選択可）**

※問2で「行ったことはなく、興味はない」を選択した方が回答

（回答者：27人）



※「その他」を選択した方の主な意見

- 何があるところなのか、全くわからない
- 子どもが楽しめる、学べる機会がある事

• 「魅力的なイベントが開催される施設」「十分なスペースを備えた駐車場がある施設」が上位を占めており、施設のソフト面とハード面の両方の充実を求める傾向が伺える。

【第2章 開成館の改修について】

**問6** 開成館は木造3階建てという構造から、地震のたびに被害を受けており、また、昨年度実施した基礎調査により耐震性能が不足していることが判明しました。文化財として保存していくためには、改修できる内容に制限があります。このような中、再開に向けた改修方針を検討しているところですが、次のうちどのような考え方が望ましいと思いますか？（1つ選択）

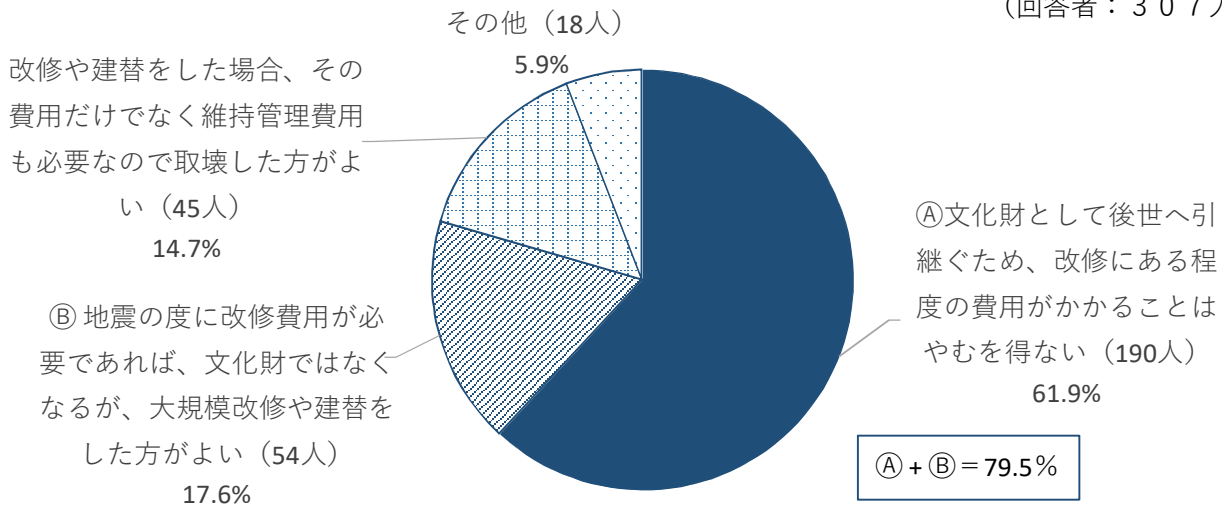
【参考例1】

東日本大震災の被害に伴う開成館の壁等のみに係る復旧費用（平成23～24年度）：約5,000万円  
 ※補強壁・柱の設置や基礎の補強などの耐震改修を行う場合は上記の10倍以上の費用を想定。

【参考例2】

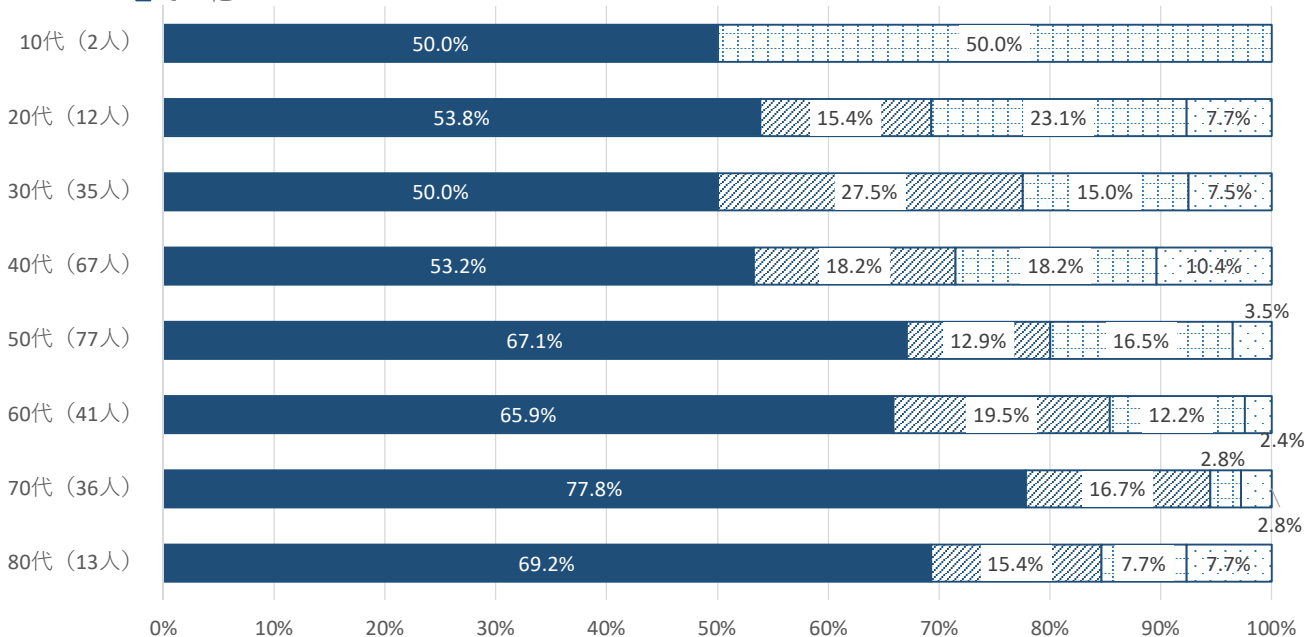
東日本大震災の被害に伴う旧福島県尋常中学校本館（安積歴史博物館）の壁等の復旧費用（平成23～25年度）：約1億4,500万円

（回答者：307人）



【年代別】

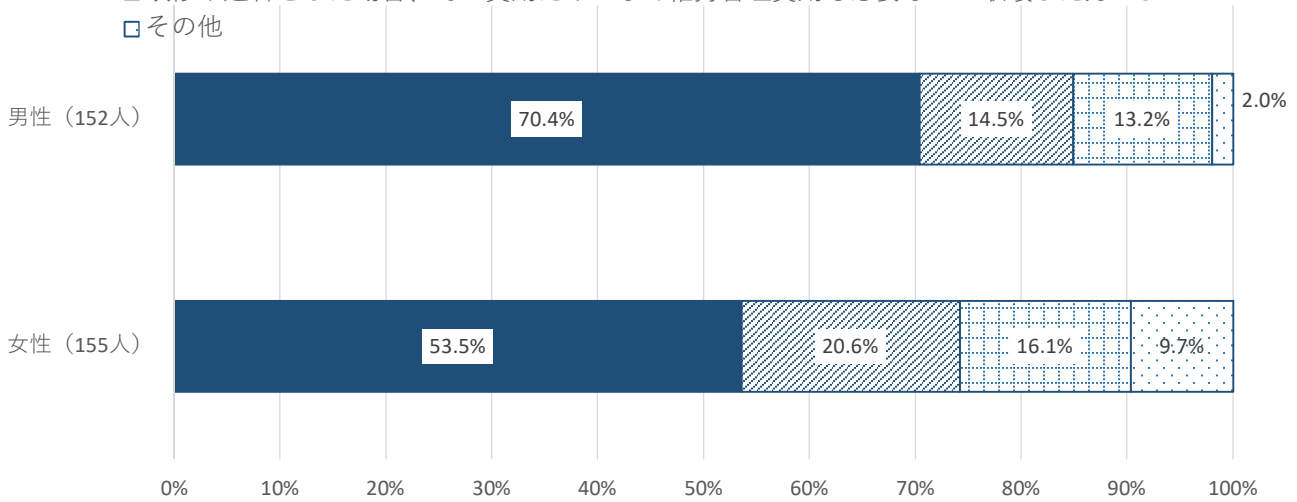
- 文化財として後世へ引継ぐため、改修にある程度の費用がかかることはやむを得ない
- ▨ 地震の度に改修費用が必要であれば、文化財ではなくなるが、大規模改修や建替をした方がよい
- ▤ 改修や建替をした場合、その費用だけでなく維持管理費用も必要なので取壊した方がよい
- その他





【性別】

- 文化財として後世へ引継ぐため、改修にある程度の費用がかかることはやむを得ない
- ▨ 地震の度に改修費用が必要であれば、文化財ではなくなるが、大規模改修や建替をした方がよい
- ▤ 改修や建替をした場合、その費用だけでなく維持管理費用も必要なので取壊した方がよい
- その他

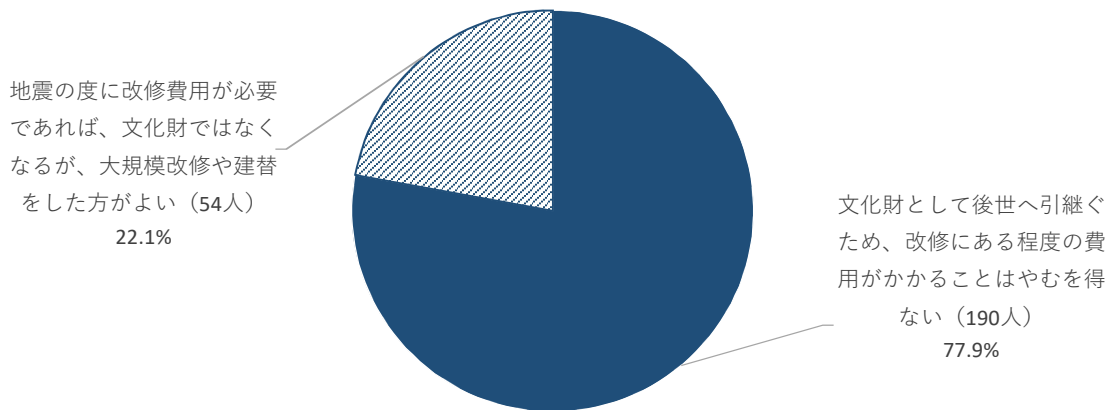


※「その他」を選択した方の主な意見

- ・難しく答えが出ない。
- ・文化財で残したいのであれば、市民に負担がかからない方法でしたほうがよい。

【「開成館としての存続」を選んだ方の内訳】

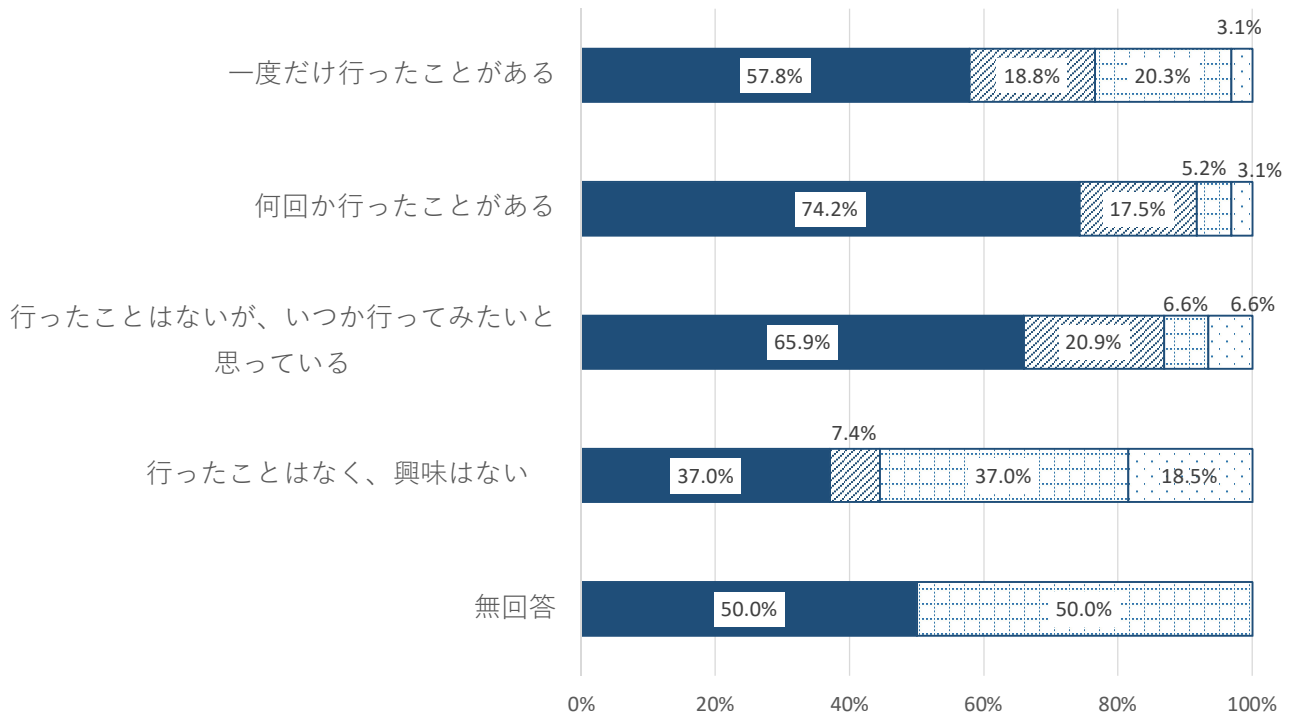
回答者：244人



- ・全体では、61.9%の方が文化財としての改修を選んでいる一方、32.3%の方が文化財としての価値よりも費用面を重視し、建替や取壊しを選んでいる。
- ・開成館としての存続を選んだ方のうち、77.9%の方が文化財としての改修を選んでいる。
- ・男女別では、女性より男性の方が文化財としての改修を選ぶ傾向がある。

【問2 開成館の利用状況×問6 開成館の改修方針】

- 文化財として後世へ引継ぐため、改修にある程度の費用がかかることはやむを得ない
- ▨ 地震の度に改修費用が必要であれば、文化財ではなくなるが、大規模改修や建替をした方がよい
- ▤ 改修や建替をした場合、その費用だけでなく維持管理費用も必要なので取壊した方がよい
- その他

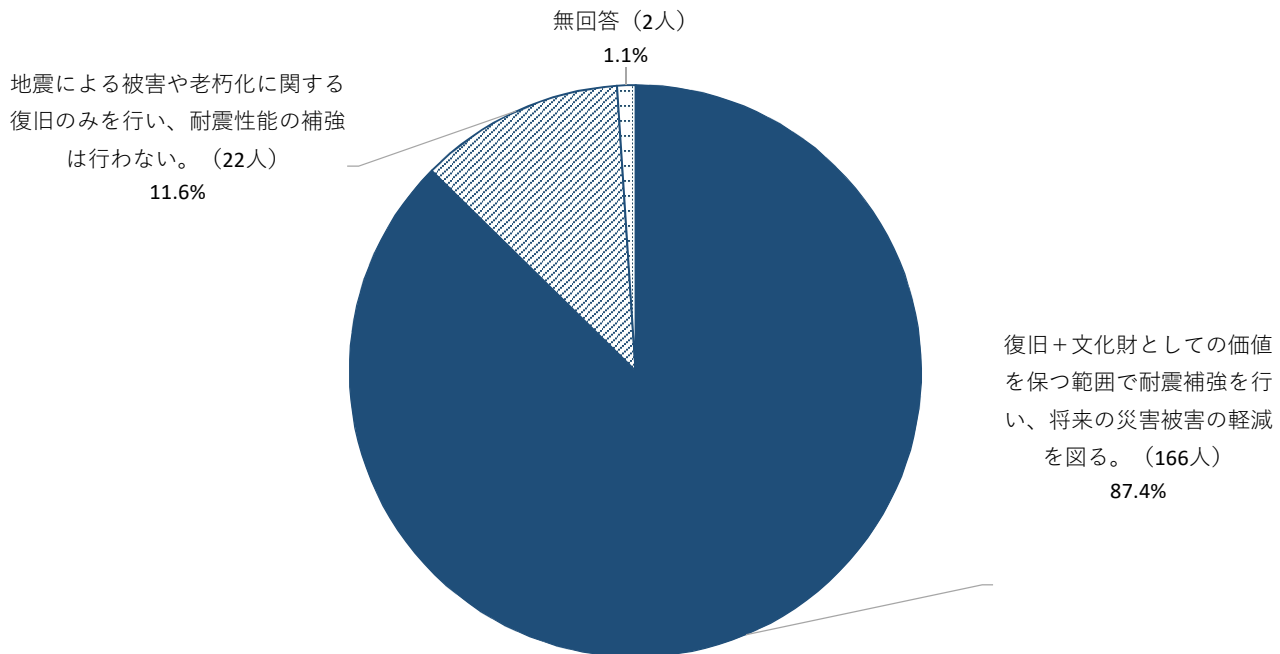


- 開成館に行ったことがある方及び行く希望がある方は、興味がない方に比べて、文化財としての改修を選んでいる。
- 開成館に興味がない方の44.4%が、開成館として存続した方が良いと回答している。

**問7 文化財として改修するにあたり、次のような方針が考えられますが、どちらの方針が望ましいと思いますか？（1つ選択）**

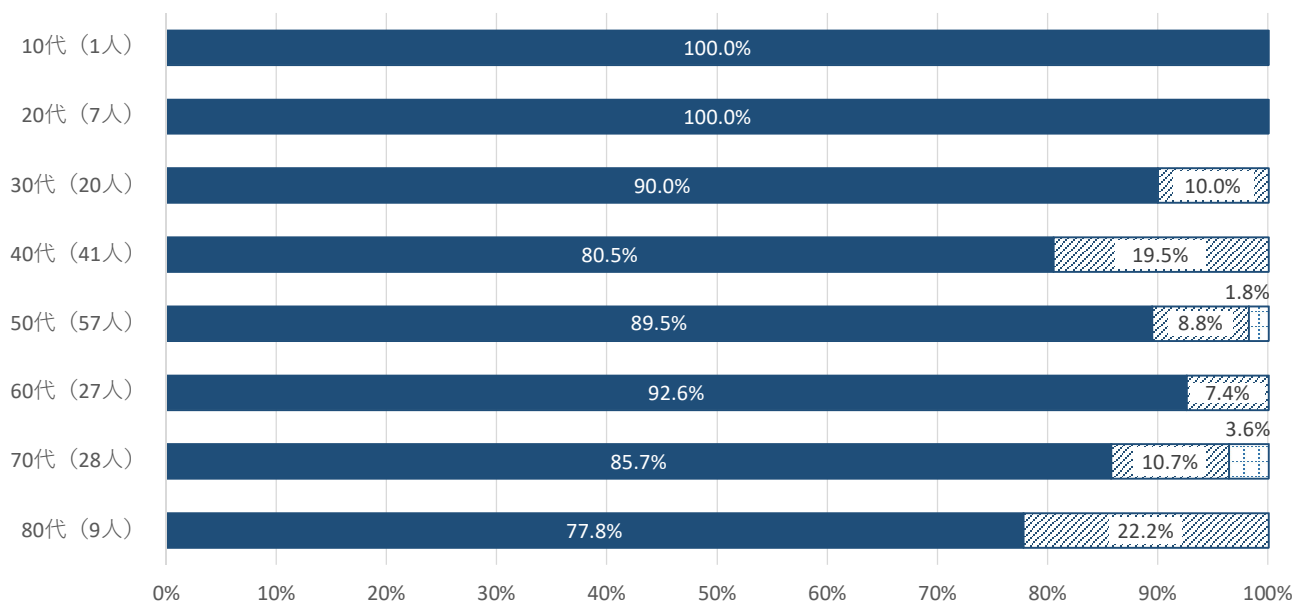
※問6で「文化財として後世へ引き継いでいくため、改修にある程度の費用がかかることはやむを得ない」を選択した方が回答

（回答者：190人）



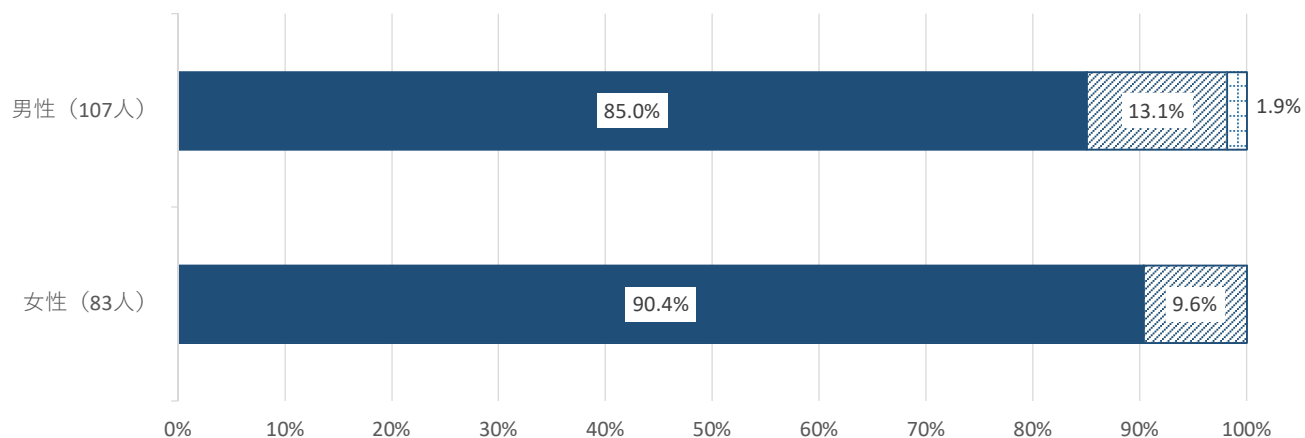
**【年代別】**

- 復旧+文化財としての価値を保つ範囲で耐震補強を行い、将来の災害被害の軽減を図る。
- ▨ 地震による被害や老朽化に関する復旧のみを行い、耐震性能の補強は行わない。
- 無回答



## 【性別】

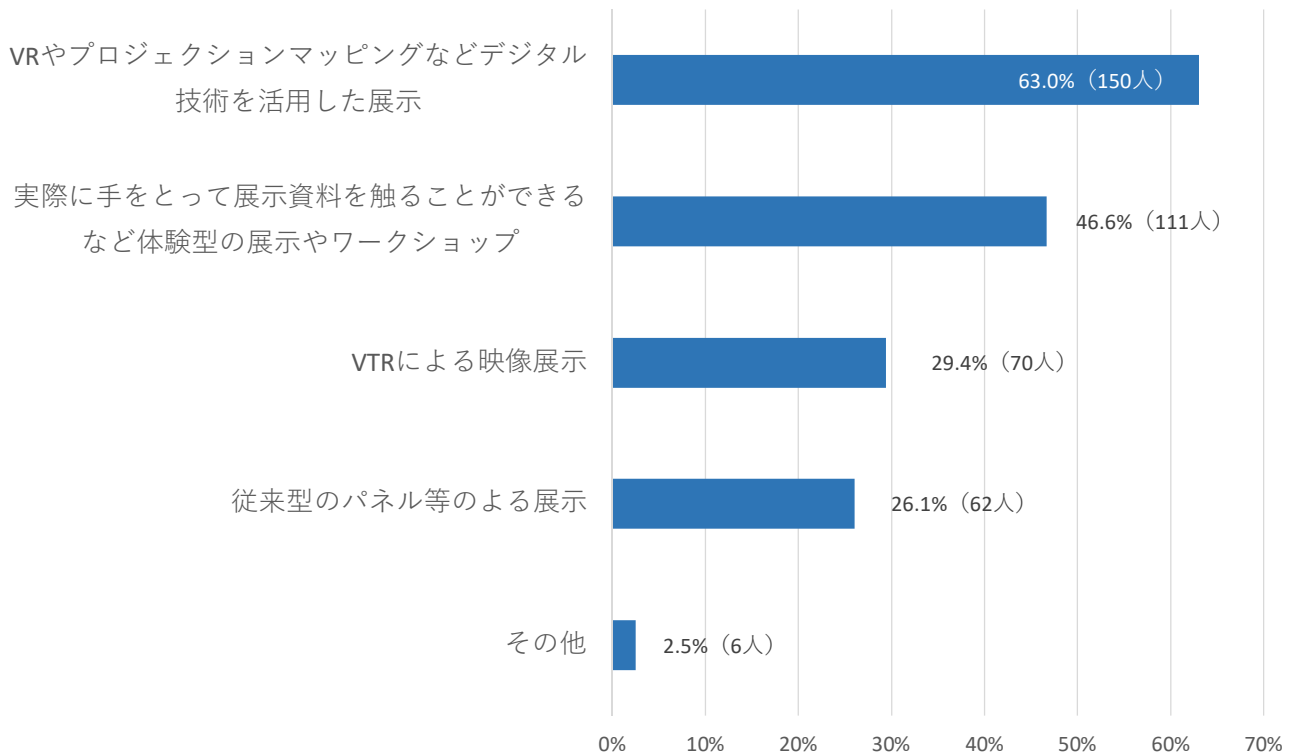
- 復旧+文化財としての価値を保つ範囲で耐震補強を行い、将来の災害被害の軽減を図る。
- ▨ 地震による被害や老朽化に関する復旧のみを行い、耐震性能の補強は行わない。
- 無回答



・文化財としての改修を選んだ方のうち、87.4%の方が復旧のみでなく耐震補強を含んだ改修を選んでおり、災害に強い文化財として存続していくべきとの意見が多い。

**問8** 改修に併せて、開成館の展示や機能について見直しを検討しています。  
 次の内容のうち、あった方が良くと思う機能の上位2つを選択してください。  
 (2つまで選択)  
 ※問6で「地震の度に改修費用が必要であれば、文化財ではなくなるが、大規模改修や建替をした方がよい」「その他」を、問7で「復旧+文化財としての価値を保つ範囲で耐震補強を行い、将来の災害被害の軽減を図る」を選択した方が回答

(回答者：238人)



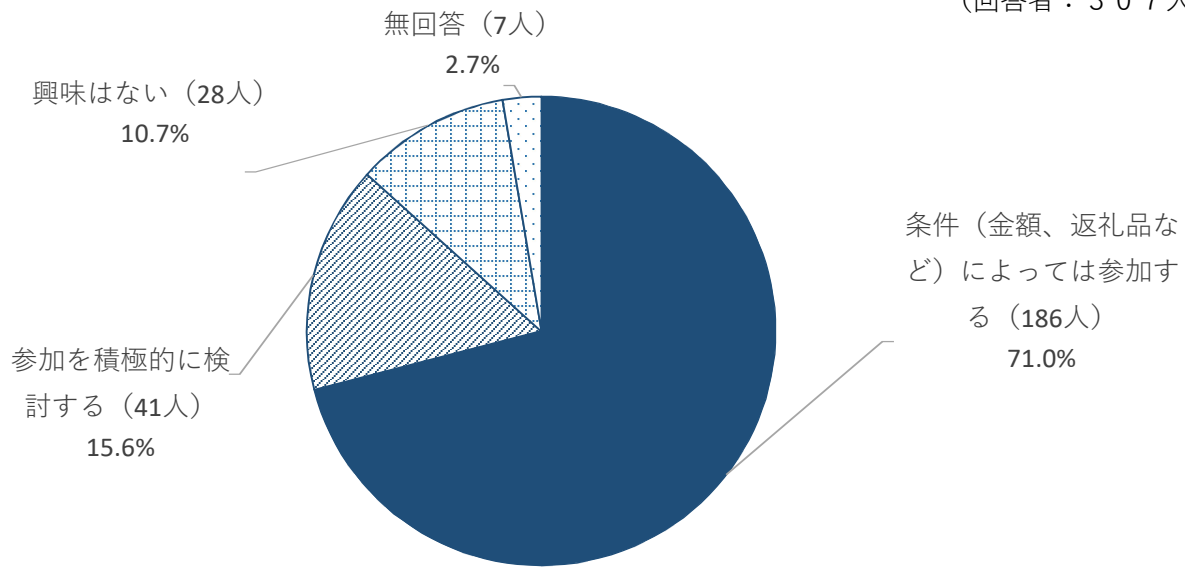
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・安積開拓=水だと思うので、学びながら休憩できるカフェがあると集客できると思う
- ・存続させるべきかの判断もつかない中で、存続させた場合の充実さを問われて分からない
- ・文化財としての記憶はデジタルとして残す

・「VRやプロジェクションマッピングなどデジタル技術を活用した展示」と「実際に手をとって展示資料を触ることができるなど体験型の展示やワークショップ」が選んだ割合が高く、従来の展示よりも先進技術を活用したり、観覧者体験型展示を希望する傾向がある。

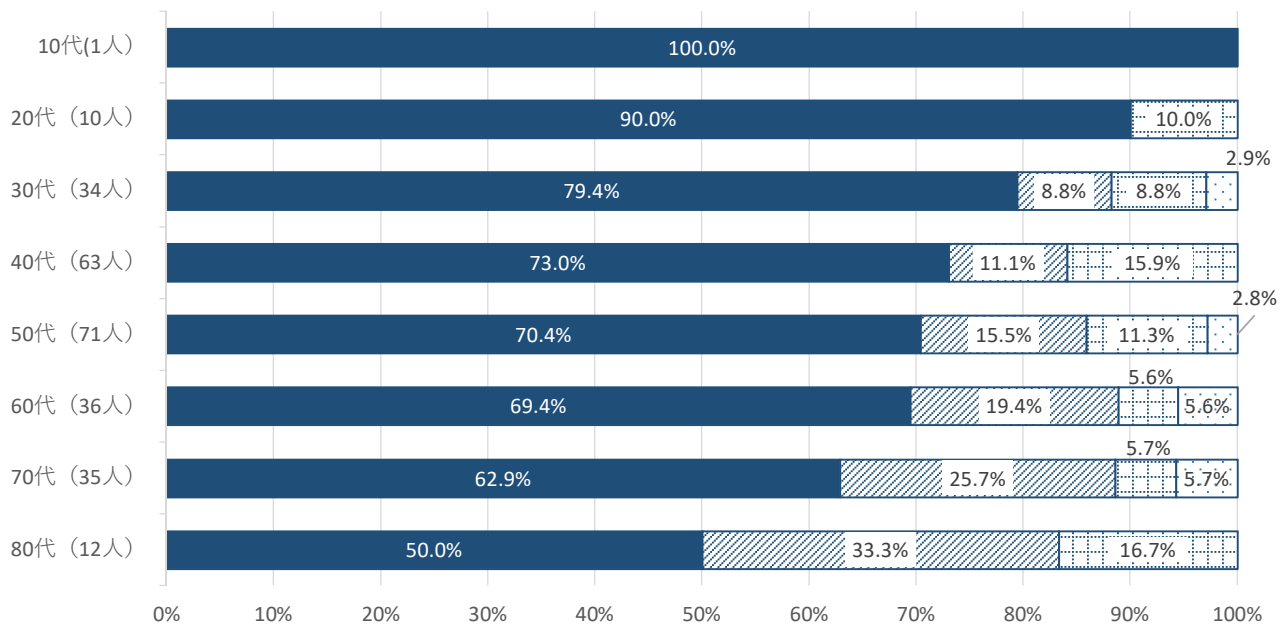
**問9** 改修または建替えにあたり、クラウドファンディング（インターネット等を通じて、目的に賛同する不特定多数の人から資金を集める仕組み）を実施することになった場合、参加したいと思いますか？（1つ選択）

（回答者：307人）

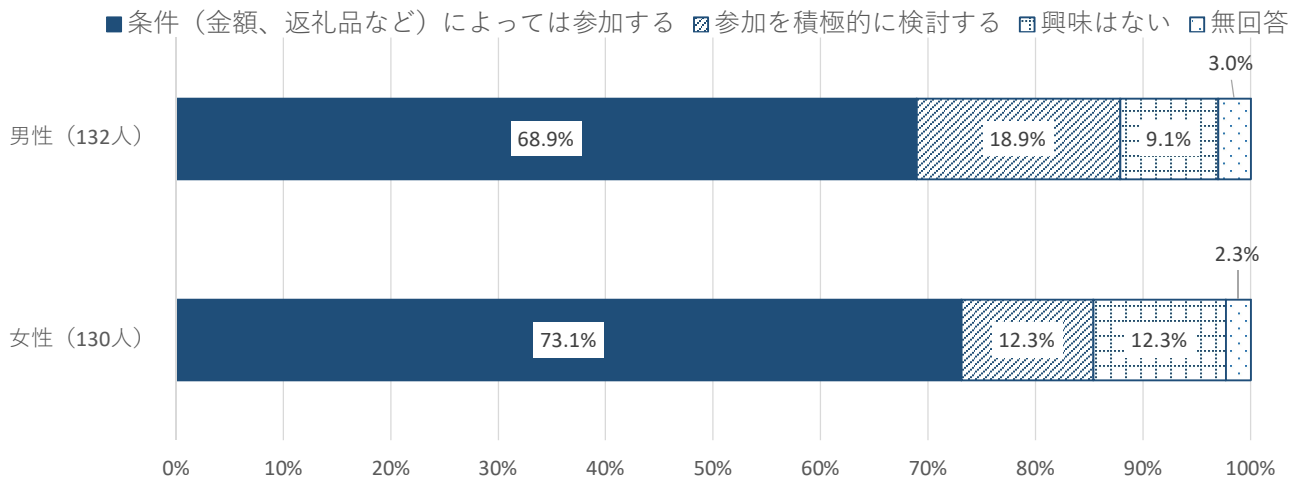


【年代別】

■ 条件（金額、返礼品など）によっては参加する ■ 参加を積極的に検討する ■ 興味はない ■ 無回答



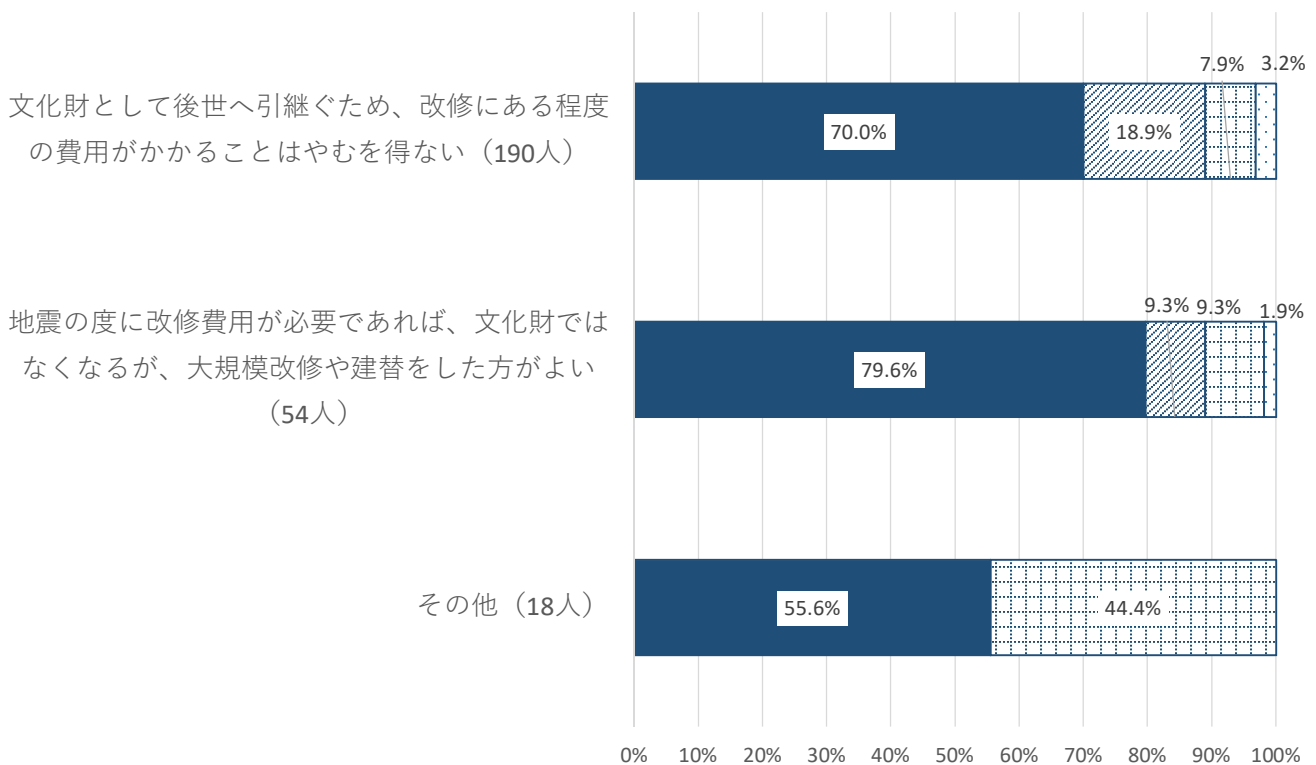
【性別】



- ・クラウドファンディングに「参加を積極的に検討する」「条件によっては参加する」と回答した方は86.6%であり、クラウドファンディングへの関心は高い。
- ・年代が高くなるごとに、積極的な参加を選ぶ割合が高くなる。

【問6 開成館の改修方針×問9 クラウドファンディングへの参加意向】

■ 条件（金額、返礼品など）によっては参加する ■ 参加を積極的に検討する ■ 興味はない ■ 無回答



- ・文化財としての改修を選んだ方と、大規模改修や建替えを選んだ方は、約9割の方がクラウドファンディングに関心があるといえる。
- ・クラウドファンディングへの積極的参加を選ぶ割合は、文化財としての改修を選んだ方が一番高い。

**問10 その他、開成館に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください  
(自由記述)**

※一部表現を要約させていただいております。

**・開成館の価値に関するご意見**

- ・郡山の象徴と言うべき物件なので、後世に是非残して欲しい（80代・男性）
- ・娘が小学校の学習旅行で見学に行き、勉強になったと言っていました。子ども達の勉強のためにも、残すべきだと思います。（40代・女性）
- ・郡山を語る時、開成館は無くしてはならない。安積開拓の象徴（60代・女性）
- ・郡山の誕生には安積開拓なくして語れない。是非とも後世に残して欲しい。（80代・男性）
- ・安積開拓に関わった人物の子孫として、郡山発展の礎を築いた先人の思いを後世に伝えるためにも保存の方向でご検討頂きたい。（40代・男性）

**・開成館の改修方針に関するご意見**

- ・費用や人材がかかっても壊したらもう元に戻らないのが遺産というものだとしたら遺すべきかと思います（遺産の数と費用によります）（50代・女性）
- ・修繕にお金がかかるなら、他の事に回した方が良いと思います。（50代・女性）
- ・地震の被害を受けにくくするためにも、建物の補強は必要だと考えております。補強せず、また建物が崩壊したら元も子もありません。（20代・男性）
- ・貴重な文化財なので、存続できるよう耐震性を強化し、その維持に努めて欲しい。（20代・男性）
- ・文化財ではあるものの、入場者数、収益に対する、人件費、補修を含めた経費を考えるべき。廃止、取り壊しも考えるべき。（50代・男性）
- ・改修に莫大な費用がかかるなら建替えをしたほうが良いとは思いますが、費用対効果も合わせて検討してほしいです。（40代・女性）
- ・そのまま保存で、いよいよとなれば取り壊しでもいいと思う。（50代・女性）
- ・市民に負担がかからない、寄付金やクラウドファンディングを検討していただきたいです。（40代・女性）

**・開成館の活用に関するご意見**

- ・資料館としてではなく、カフェ、レストラン、ショップとして活用すると良いと思います。（40代・男性）
- ・積極的に地域の歴史を行政は発信すべき。建物がそこに存在するだけでは、先人の歴史の重みが市民に浸透しないと思う。（60代・男性）